

# 広島市植物公園

## 見どころ案内

### ウコン (ショウガ科)

白い花が咲いています。根茎は、カレー粉やたくあんの色づけに利用されます。英名はターメリック。

### オトコエシ 男郎花 (オミナエシ科)

### オミナエシ 女郎花 (オミナエシ科)

白い花がオトコエシ、黄花がオミナエシです。万葉集にも出てくるオミナエシの名が先についたようです。白花のほうは、背が高く丈夫そうなのでオトコエシの名がつけました。花の進化園に、並べて植えてあります。

### 薬用植物展

提示温室にて  
9/29(日)まで開催中

### マツリカ 茉莉花 (モクセイ科)

花をジャスミンティーの香りづけに使います。夜咲いて翌の夜には散ります。

### リコリスの仲間 (ヒガンバナ科)

コヒガンバナは、ヒガンバナの変種です。花の咲く時期が約1週間早く、全体に小ぶりです。ヒガンバナは3倍体なので実がなりません、コヒガンバナは2倍体なので実がなります。

ショウキズイセンは、あざやかな黄色です。

### 植物友の会作品展 9/1(日)まで開催

展示資料館 1階展示室にて  
友の会会員が育てた植物や草木染のスカーフ、植物写真などの展示です。

### マツムラソウ (イワタバコ科)

つりがね型のエキゾチックな黄色い花です。内側に赤いもようがあります。亜熱帯の植物で、西表島、台湾、中国南部に分布しているそうです。

### ツノゴマ (ツノゴマ科)

北アメリカ南部に分布し、角状の若い実はピクルスに利用されますが、実が熟れてはじけると、かたくて鋭いトゲ状になって地面にころがります。踏むと痛いので、別名はタビビトナカセ。若い実の形から英名はユニコーンフラワー。悪魔の爪とも呼ばれるそうです。

### ネコノチチ

(クロウメモドキ科)

実を猫の乳首に見たてて名がついたとか…。葉は2枚ずつの変則互生です。

### オオモクゲンジ

(ムクロジ科)

中国原産の落葉高木です。花は枝先に咲くので、展望塔の屋上からよく見えます。黄色い小さな花が房になって咲きます。

### アイ(タデアイ)(タデ科)

東南アジア原産の一年草です。赤みを帯びた小さな花が咲き始めました。生葉でも、うす青に染まりますが、伝統の藍染めは、葉を発酵させて作る染液を使います。

### ソバ(タデ科)

中央アジア原産で、日本へは縄文時代に中国から渡ってきたとされています。花の進化園で白い花が咲いています。

